

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	玄海町立有浦小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	11
児童数	16	17	19	31	27	28	0	138	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力の定着を図る学習指導の工夫
～算数的活動・表現方法・評価の工夫～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数
校内研修の効果的運用のためには、全学年実施が妥当である。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎学力の向上をめざす学習指導の工夫 ～算数科を中心とした基礎・基本の習熟を図る手立て～</p> <p>研究の見通し（仮説） まず、ゆとりをもった教育計画のもと、少人数授業等きめ細かな指導を通して児童の実体に即した授業を展開する。更に児童の教育環境を整え、家庭学習も含めた繰り返しの学習で学習内容の定着を図ることで、学習に対する興味・関心が高まり、着実に基礎学力を高めることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 [研究内容] ・学習指導の自己評価と児童の習熟度別指導の確立 ・学習指導法の研究 ・指導のための教材開発 ・学力向上をめざす指導体制作り ・地域と連携した校内授業研究会の実施とその成果の発信 [研究方法] ・研究主題を念頭に置いた日常の指導実践の充実を図る。 ・低・中・高学年グループに分かれ、それぞれの研究テーマに基づいて研究を進める。 ・授業研究を中心に置き、自ら学び、他から学び、次の実践に生かしていく。 ・研究授業を各自一回ずつ行う。 ・研究授業の記録を残し、研究成果と今後の課題をまとめる。 ・校内での「少人数授業」の指導・支援態勢作りを綿密にしておく。</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力の定着を図る学習指導の工夫 ～算数的活動・表現方法・評価の工夫～</p> <p>研究の見通し まず、ゆとりを持った教育計画のもと、少人数授業等きめ細かな指導を</p>
--------	---

通して児童の実体に即した授業を展開する。更に児童の教育環境を整え、家庭学習も含めた繰り返しの学習で学習内容の定着を図ることで、学習に対する興味・関心が高まり、着実に基礎学力を高めることができるであろう。

研究の内容・方法

[研究内容]

- ・学習指導の自己評価と児童の習熟度別指導の確立
- ・学習指導法の研究
- ・指導のための教材開発
- ・学力向上をめざす指導体制作り
- ・地域と連携した校内授業研究会の実施とその成果の発信

[研究方法]

- ・研究主題を念頭に置いた日常の指導実践の充実を図る。
- ・低・中・高学年グループに分かれ、それぞれの研究テーマに基づいて研究を進める。
- ・授業研究を中心に置き、自ら学び、他から学び、次の実践に生かしていく。
- ・研究授業と授業公開を各自一回ずつ（計2回）行う。
- ・研究授業の記録を残し、研究成果と今後の課題をまとめる。
- ・校内での「少人数授業」の指導・支援態勢作りを綿密にしておく。

平成
16
年度

テーマ

確かな学力の定着を図る学習指導の工夫
～算数的活動・表現方法・評価の工夫～

研究の見通し

まず、ゆとりを持った教育計画のもと、少人数授業等きめ細かな指導を通して児童の実体に即した授業を展開する。更に児童の教育環境を整え、家庭学習も含めた繰り返しの学習で学習内容の定着を図ることで、学習に対する興味・関心が高まり、着実に基礎学力を高めることができるであろう。

研究の内容・方法

[研究内容]

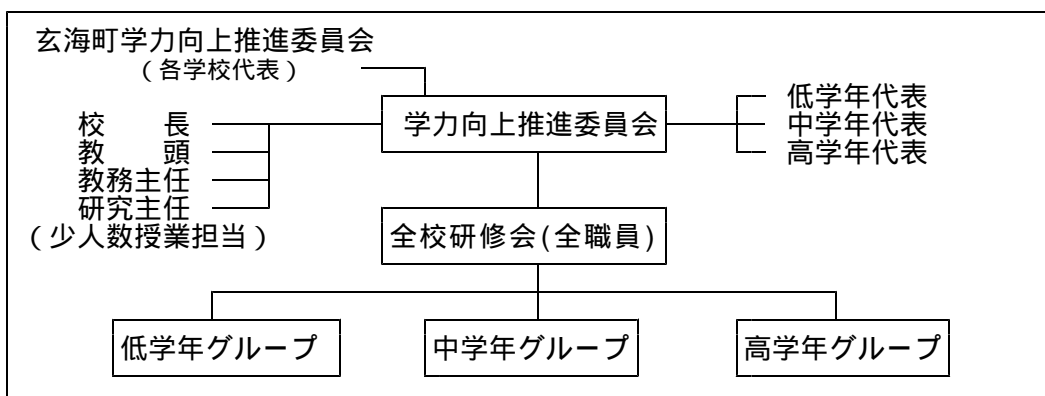
- ・学習指導の自己評価と児童の習熟度別指導の確立
- ・学習指導法の研究
- ・指導のための教材開発
- ・学力向上をめざす指導体制作り
- ・地域と連携した校内授業研究会の実施とその成果の発信

[研究方法]

- ・研究主題を念頭に置いた日常の指導実践の充実を図る。
- ・低・中・高学年グループに分かれ、それぞれの研究テーマに基づいて研究を進める。
- ・授業研究を中心に置き、自ら学び、他から学び、次の実践に生かしていく。
- ・研究授業と授業公開を各自一回ずつ（計2回）行う。
- ・研究授業の記録を残し、研究成果と今後の課題をまとめる。
- ・校内での「少人数授業」の指導・支援態勢作りを綿密にしておく。

上記に付したとおり、現時点では、平成14年度に作成した校内研修計画に基づいて、3か年の「学力向上フロンティア事業」を推進していく予定であるが、研修を進めるうえで必要であれば、あるいは年度末の反省をもとに、改善すべき点が生じた場合は、随時計画を変更していく予定である。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

習熟度別少人数授業を推進していくことで、一人一人の実態を把握し、個別指導が行き届くようになった。

習熟度別に分けたことで、授業後の評価カードに、「分かりやすい」「自分から手をあげることができるようになった」とか、「すぐにをつけてもらえる」「質問しやすい」といった意見が見られるようになった。

複数教員で細かに指導することで、休み時間や放課後に、自分から進んで分からないところを尋ねに来る児童が増え、学習に対する興味・関心は確実に向上していると思われる。

年間を通じて、百マス計算を継続してきたことで、当初は5分以上かかっていたのが、3分程度でできるようになった。(各学年のデータを添付)

全職員で指導法についての話し合いを重ねた結果、教師側の共通理解が図られ、全校一貫した指導形態ができた。

「校内研修だより」「学級通信」等を通して、保護者への啓発を図ったことで、保護者からの「少人数授業を推進してほしい」という意見が100%に達した。(職員・児童・保護者アンケートをデータとして添付)

2. 今後の課題

授業をする前に担任と少人数担当との打ち合わせが十分できない。

今年度は、算数科の「数と計算」領域に限定して、少人数指導を行ってきたが、算数科の基礎学力を伸ばすためには、できれば全領域にまたがって指導していきたい。(加配1名という現状では困難である。)

教育環境の面で、地域連携を図ったが、まだまだ取組が不十分である。

玄海町全小・中学校で、町ぐるみで学力向上を推進していく主旨でスタートしたが、今のところお互いの意見交換はあるものの、統一した見解や取組は見られない。今後は、町全体で取り組んでいくような試みが必要ではないか。

学力等把握のための学校としての取組

全国標準学力検査を毎年5月に実施し、それを活用して児童の学力分析を行っている。算数科の習熟度別少人数授業のグループ編成時の参考資料としても活用。

学校独自の学力テストを年度末に実施し、児童一人一人の実態と学級の実態を分析している。

児童・保護者・職員に対して、少人数指導（TTを含む）に関するアンケートを実施し、次年度に生かすようにしている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会・説明会等の開催実績
「基礎学力の向上をめざす学習指導の工夫」をテーマに、6回の授業研究会を実施した。

- 2年（6月24日）
・対象：町内小・中学校、保護者及び管内小学校、県内関係諸学校
- 3年（7月3日）
・対象：町内小・中学校、保護者
- 1年（10月9日）
・対象：町内小・中学校、保護者及び管内小学校、県内関係諸学校
- 6年（10月30日）
・対象：町内小・中学校、保護者
- 5年（11月12日）
・対象：町内小・中学校、保護者
- 4年（11月26日）
・対象：町内小・中学校、保護者

研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等の実績
学校のホームページで、今年度のフロンティア事業の経過報告を随時行っている。現在、次のものを掲載中。

- ・平成15年度年間計画
- ・公開授業案内
- ・月別校内研修計画（4月～3月）
- ・校内研修（No.1～No.5）

URL <http://www.saga-ed.go.jp/school/edq13201/index.html>

平成14年度に、文部科学省指定（3か年）学力向上フロンティア事業（1年次のまとめ）として、研究冊子を作成した。

《内容》

- ・校内研修計画
- ・指導方法改善
- ・少人数授業
- ・全国標準診断的学力検査の分析
- ・研究実績（各クラス研究授業のまとめ）
- ・関連資料（百マス計算データ・興味関心アンケート）
- ・「生活科」「総合的な学習の時間」について

継続校において、研究成果の普及活動の成果（他校への反響等）
昨年度、他県からホームページを見て、参考資料を送って欲しいという連絡を受け、資料を提供した。

- ~~~~~
- | | | | | |
|----------------------|---|--|--|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input checked="" type="checkbox"/> 6学級以下 | <input type="checkbox"/> 7～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～18学級 | <input type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> TTによる指導 | | |
| | <input type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 【研究教科】 | <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input type="checkbox"/> 生活 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| | | | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | |

百マス計算データ（必要時間の推移）

【第1学年】... 5分間計算を実施。
（問題を100問用意し、5分間に何問解けるかの計算練習）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数						41	46	57	59

5分間ではあるが、毎日継続することにより確実に計算速度は速くなっている。

【第2学年】... 4月から百マス計算を実施。

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数	4:40	4:20	3:30	3:25	4:50	3:37	2:31	2:28	2:48

5分間に百問できない子もいるが、平均的にタイムを短縮している。

【第3学年】... 6月から百マス計算を実施。

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数			6:24	5:30	4:08	3:55	3:40	3:33	3:35

百マス計算のひき算だけを取り上げた集計結果で、タイムは3分程度短縮している。

【第4学年】... 4月からかけ算九九の百マス計算に取り組んできた。途中で、抜き打ちで「たし算」「ひき算」「わり算」「あまりのあるわり算」を挿入することもあったが、かけ算九九については年間を通して続けている。

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数	6:12	5:20	5:05	4:32	4:16	3:48	3:31	2:51	2:29

4月の段階では5分以内に百問完了しない子が5名程度いたが、現在では、全員3分以内でできるようになった。また、時間だけでなく、間違いもほとんど見られなくなった。

【第5学年】... 5月から百マス計算を実施。

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数		2:52	2:37	2:35	2:45	2:29	2:10	2:07	2:17

計算が速い児童は短縮が少ないが、遅い児童ほどタイムを縮めることができた。

【第6学年】... 4～7月はかけ算、9～1月はわり算の百マス計算を実施。

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1
平均回答数	2:48	2:34	2:33	2:39	3:04	2:40	2:30	2:16	2:09

極端に計算の遅い子が2, 3人いるが、クラス全体としては短縮している。

学年当初からスタートした百マス計算だが、1年生は百マスではなく、5分間計算（5分間にどれだけ問題ができるか）の方法で実施している。始めたころは、毎時間答えのチェックに時間を要していたが、現在では計算ミスもほとんど見られず、「できるだけ早く正確に！」を合い言葉に日々奮闘中である。競争意識をあおるのでは...? という批判もあるが、本校ではこの百マス計算を朝の活動の前に毎日取り組むことで、計算の楽しさを感じてきているのも事実である。

少人数学習（TTも含む）アンケート（児童）集計結果

- 1 少人数学習は好きですか。（ひとつだけ をつけましょう）
- ・好き ... 115人
 - ・どちらでもない ... 17人
 - ・きらい ... 5人
- 2 「好き」な理由を下から3つ選びましょう。
- ていねいに教えてもらい、授業がわかりやすいから ... 69人
 - 答え合わせや丸つけをすぐにしてもらえるから ... 47人
 - 自分の考えを先生に聞いてもらえるから ... 37人
 - 他の先生や友だちのいろいろな考えが聞けるから ... 39人
 - いろんな道具やプリントなどを使って教えてくれるから ... 41人
 - 楽しく勉強できるから ... 74人
 - 担任以外の先生に教えてもらい、あきないから ... 14人
 - 担任以外の先生からもほめられるから ... 19人
 - その他（かんたんに書いてください。）
 - ・人が少ないと早く終わるから。（算数がきらい）
 - ・人数が少なくて分かりやすい。
 - ・発表しやすい。
- 3 「きらい」な理由を下から2つ選びましょう。
- いろいろな先生が来るのできんちょうするから
 - 先生からの注意が多いから
 - 先生からじろじろ見られているようで嫌だから
 - 先生の教え方がちがうときがあるから
 - 落ち着いて授業が受けられないから
 - その他（かんたんに書いてください。）
- 4 「どちらでもない」理由はなんですか。かんたんに書いてください。（いくつ書いてもいいです。）
- ・きつくなるからです。
 - ・勉強のプリントを見られるから。
 - ・みんなとはなれるからいやだ。
 - ・分かれてするから。
 - ・分かりやすいけど、じろじろ見られて嫌だ。
 - ・普段とあまり変わらない。
 - ・勉強が早くも遅くもない。
 - ・内容は変わらない。
 - ・少なくとも多くても変わらない。
 - ・2組に分かれてもいっしょだから。
 - ・説明が分からないときがある。
- 5 少人数学習がわかりやすかったり、楽しかったのはどこを勉強したときですか。（いくつ書いてもいいです。）

学年	教科（算数）	勉強の内容（単元や活動など）
1	算 数	3つのかずのけいさん ... (10人)
		たしざん(2) ... (10人)
		ひきざん(2) ... (10人)
2	算 数	大きな数の書き方 ... (1人)
		1円玉数え ... (13人)
		たし算 ... (1人)
3	算 数	大きな数・重さ調べ・時間
4	算 数	わり算2 ... (12人)
		わり算1 ... (11人)
		大きな数 ... (5人)
		小 数 ... (5人)
		もとの数はいくつ ... (4人)
		面 積 ... (3人)
		折れ線グラフ ... (2人)
		円と球 ... (2人)
		式と計算 ... (1人)
5	算 数	小数のかけ算 ... (4人)

		計算のきまり	... (2人)
		円	... (2人)
		式と計算	... (1人)
		面積	... (1人)
		道具を使って	... (1人)
	総合(英語)	ゲーム・歌・発音	... (9人)
6	算数	面積、分数、単位あたり量、体積、分数のかけ算・わり算、早さ、倍、割合(割合ものさしがあったから、分かりやすかった)	
	総合	英語活動	

6 これから、どんな勉強を少人数学習でしたいですか。(いくつ書いてもいいです。)

教科	勉強の内容(単元や活動など)
体育	84人... なわとび・とび箱・ドッジボール・水泳・鉄棒・ゲーム・バドミントン・かけっこ・マット運動・ボール運動・サッカー・マラソン・ミニソフトバレー
図工	16人... 絵・工作・スケッチ・クロッキー
生活科	9人... 探検
音楽	12人... 合奏(けんぱんハーモニカ)・リコーダー・ピアノを使って・歌
国語	16人... 音読・漢字・読書
算数	6人... 算数ゲーム・分数・割合・復習
道徳	1人
学活	1人
パソコン	2人... 調べる・ゲーム(作文)
理科	9人... 花調べ・星の観察・虫の観察・実験
社会	10人... 町の探検・歴史
総合	5人... 英語活動・民話など
家庭科	1人... 裁縫

少人数指導に関するアンケート(保護者用)集計結果

(136名中 113名回収 回収率83.1%)

- 少人数指導について知っていましたか?(をご記入ください。複数回答可)
 - ・授業参観をしたことがあり知っていた ... 72人
 - ・子どもから聞いたことがあって知っていた ... 63人
 - ・学校からの通信等で知っていた ... 85人
 - ・その他の情報(新聞・テレビ等)で知っていた ... 22人
 - ・全く知らない ... 2人
- 今後、少人数指導を推進すべきだと思いますか。
 - ・推進すべきである ... 113人
 - ・推進する必要はない ... 0人
- 推進すべき理由はなんですか。(複数回答可)
 - ・より行き届いた指導が受けられるから ... 85人
 - ・つまづきを早く見つけてもらえるから ... 71人
 - ・個人差に応じた指導が受けられるから ... 85人
 - ・子どもが質問しやすくなるから ... 53人
- 少人数指導を推進していく上での学校へのご意見・ご要望がありましたらお書きください。

理解が遅れている分を早く見つけて、積極的になるようになってほしい。
習熟度によって分けられた(区別)子どもたちの間に差別が生じないように、配慮していただければと思います。本人への説明・納得が大切だと思います。
できない子どもに力を入れて欲しい。
少人数は先生が指導する上で、目が届くと思います。ぜひ続けてほしい。
つまづきながらも問題の答えが解けた時は嬉しいようです。家でもゆっくりですが、「わかった!」と言って宿題をしている姿は、そのようなご指導の成果のあらわれだと常日頃思っています。宿題も以前より早く終わっているようです。
週5日制になって、授業についていけない子どもと、ついていけない子どもと差が出てきているので、そういう授業の形をもっと取って欲しいと思います。

クラスの人数が少ないということだけでも子どもたちにとっては、きめ細かな授業が期待できるのに、少人数指導までしていただける、とても親としては有り難いことだと思います。やはり、学習の基礎は小学生のうちをしっかり身につけていなくては、中学校（高校）へ上がった時に、そのレベルについていけないと思います。基本・基礎があってはじめて、レベルアップできると思います。

おいてけぼりのないように、わからない子にも根気強く教えてください。
早いうちにつまずきを先生にみつけてもらい、それに応じた指導が受けられていいと思います。

昔と違って今は、国・数共にポンポン進んでいる感じがするので、やはり、基礎を重点的に、少人数（TT）でした方がよいのではないのでしょうか。

子どもたちを少人数に分ける時に、本人に説明・納得などが大切だと思います。

苦手な事に少しでも楽しく学習できるように指導して欲しい。

マイペースでゆっくり型の性格なので、この指導方法だと本人の理解力も深まっているようです。

2クラスだけじゃなく、もう少しクラスを増やして欲しいと子どもが言っている。

親ではどう教えていいのかわからない事があり、困る事が多くあります。子どもの理解力に応じて指導されるとと思いますので助かります。

少人数指導（TTを含む）に関するアンケート（職員用）

- 1 少人数指導（TTを含む）の導入が教員間にもたらした影響はありますか？
お互いの授業と見合ったりすることで、指導力向上を図ることができる。
相談する時間があまりとれないのは残念だが、打ち合わせながら進めることで、担任の目では気づかない事に気づかされたり、良い刺激を受けたりする。
TTの相手の授業を見ることで、学ぶべきものがあつた。
打ち合わせや授業中の指導を見合うことでお互いにより意味で刺激となり、指導法の工夫がみられた。
なかなか打ち合わせやふり返しをする時間がないものの、授業について話し合いをすることが多くなつた。（一人だけでやっている、そういう機会がない。）
それぞれの教師の考え方・とらえ方（少人数やTTのあり方）に、少々、温度差があると思う。
- 2 少人数指導（TTを含む）の導入による児童の変容について
関心・意欲の面
児童も楽しみにしている。
とにかく子どもたちは少人数担当の先生のが大好きで、算数の時間を楽しみにしている。
習熟度別ではなくとも少人数ですると、発表しやすく、一人一人が活躍できる場面が多くて良かった。
指導法や課題の与え方の研究によるものを重視したい。
机間支援の際、質問してくる児童が増えた。
2人で算数の学習指導にあたっているが、子どもたちは、それがあたり前と知っている。
少人数で分かれる際、不平・不満などは言わないが、中心は「一緒に勉強したい」と思っている子どももいる。
知識・理解・技能・表現の面
低位の子たちを少人数で見ること、より細かな指導をすることができる。
表現の点から言うと、教師が2人いることで、自分の考えを教師に確かめながら自信をつけつつ発言することができている。
子どもの全体の人数が少ないこともあり、1時間内で個別指導もでき、子どもたちの理解も深まっていると思う。
児童が少人数だと目も行き届き、一人一人の活動や発表の場面が多くとれて良かった。
学習内容により、その時間、特に指導を必要とする児童を重点的に指導することができるので、以前よりは理解できている。
2人で子どもを指導することにより、多角的な見方ができる。
子どものつまずきの早期発見。
- その他
個別指導の時間をもう少し取りたい。
教え合い、学び合いの授業を取り入れた方がよい。

3 来年度の校内研修について

内容はどうか？

(ア)今年度のまま算数科「数と計算」領域の研究を継続する。
広げていってはどうか。(他の領域に広げてよい。)
継続することに意義があると思います。

(イ)新しい分野に変更する。(具体的な教科・内容等があればお書きください。)
領域を広げる。
文章問題を解く力をつけていくことも研究に力を入れてはどうか。

校内研修について、何か意見・要望等があればお書きください。

統一した見解が必要ではないか？

教具・教材・指導法の研究と表現力の向上に力を入れてはどうか？

学年グループでの話し合いの時間があまりとることができない。何とか時間の確保をお願いしたい。